

金融仲介機能の発揮に向けた取り組み

コンサルティング機能の発揮

■ 多くのお客さまにメインバンクとしてお取引いただいています

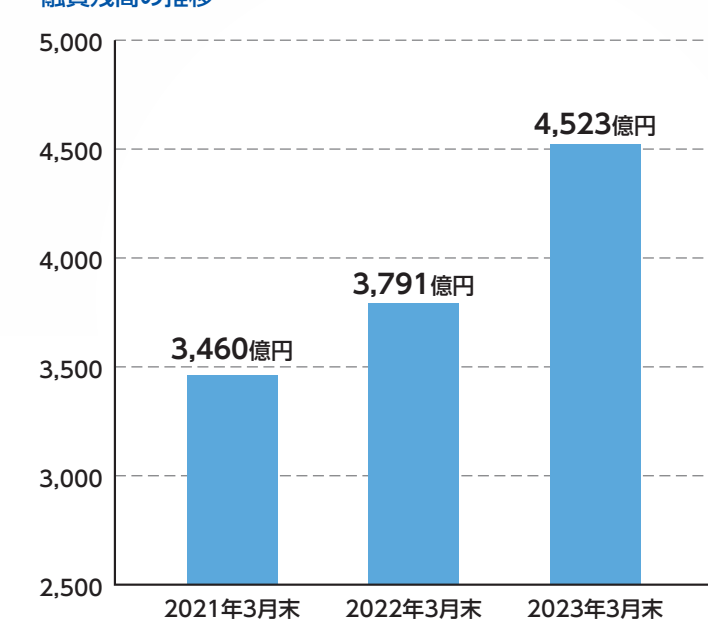
2023年3月末時点で、当金庫をメインバンクとして取引いただいている企業(9,193先・融資残高5,928億円)のうち、経営指標の改善が見られた先数は6,523先となりました。

また、経営改善先に係る3年間の融資残高の推移は、2021年3月末3,460億円、2022年3月末3,791億円、2023年3月末4,523億円と増加しています。

◎メイン金庫として取引を行っている企業のうち、経営改善等の改善が見られた先数、および融資残高の推移



◎経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移



■ 企業のライフステージに応じたコンサルティングをめざして

お客さまの事業内容や成長可能性などから新たな価値を創出するとともに、お客さまが抱えておられるあらゆる経営課題に実効性のある解決策を検討・提案できる体制のさらなる充実を進めています。

また、目利き力を高め、担保や保証に過度に依存しない事業性評価に基づいた融資に積極的に取り組んでいます。

◎事業性評価に基づく融資を行っている先数・融資残高、および全融資先数・融資残高に占める割合

事業性評価先数	6,358先	融資残高	5,104億円
全融資先に占める割合	36.2%	全融資残高に占める割合	51.6%

◎ライフステージ別の与信先数、および融資残高



ローカルベンチマークの活用

当金庫は経済産業省が2016年6月に事業性評価の「入口」で活用するための「企業の健康診断ツール」として公表した「ローカルベンチマーク」を活用し、お客さまとの対話を行っています。

ローカルベンチマークを示した先に対しては、当金庫本部と営業店による連携したサポートを行うことで、きめ細やかな支援が行える体制の構築を進めています。

◎ローカルベンチマーク作成先数

融資部で作成、事後フォロー実施した先数	767先
地域産業振興部で作成した先数	130先

◎当金庫が貸付条件の変更を行っている取引先における経営改善計画の進捗状況

	条件変更総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	1,069先	2先	22先	71先

◎当金庫が支援した創業、第二創業の件数

金融機関が関与した創業件数	2,421件
金融機関が関与した第二創業件数	1件

◎創業関連商品による投資、融資の先数、金額

だいしん創業支援ファンドによる投資	2先 25百万円
創業関連融資商品 (誕生、誕生3、開業サポート資金)	273件 1,731百万円

金融仲介機能のベンチマークについて

「金融仲介機能のベンチマーク」とは、金融庁が2016年9月に、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として策定、公表したものです。

当金庫が「ベンチマーク」として公表した数字については、右に示したマークを付けています。

